まるっと蒲田NEWS

2025年 7月号 July

お薬手帳のはなし



お薬手帳の複数所持は危険です！



何が書いてある？

お薬手帳は、あなたが今まで服用した薬、受診した医療機関、買ったり、使ったりしたお薬の名前や服用量、そしてその結果などを記録するための手帳です。

お薬手帳は１冊にしましょう！

お薬手帳がいくつもあると、医師や薬剤師に薬の情報が正しく伝わりません。
その結果、知らないうちに同じ働きの薬や、飲み合わせの悪い薬が処方されるおそれがあります。

いつ使うの？

病院・クリニック・歯科医院・薬局に行く時
薬局・ドラックストア等でくすりを買う時
急に具合が悪くなった時
献血する時　など

災害時に役立つお薬手帳

災害時は病院や薬局の
カルテが使用できない
ことがあります。



ご自身が被災し
意識がない、伝えられない
状態になるかもしれません。

そんなとき薬の情報を正しく伝えられるのが「**お薬手帳**」です。さらにお薬のアレルギーや副作用、緊急連絡先を記載しておくといざというときに役立ちます。



東日本大震災で見えた“お薬手帳の力”

2011年の東日本大震災では、お薬手帳の内容から慢性疾患と判断できる場合は、**処方箋がなくても**お薬をお渡しすることができました。

※事後に処方箋が発行される場合のみ。
「平成23年東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震の被災に伴う保険診療関係等の取扱いについて」
厚生労働省保険局医療課 事務連絡 平成23年3月15日

JCHO東京蒲田医療センター
〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-19-2
TEL：03-3738-8221（代表）
FAX：03-5744-3280（地域連携室）